

若葉台地区

令和7年12月6日 (iプラザ)

No.	質問内容	回答
1	今年度、若葉台小学校に設置予定のふれあいセンターの運営や活用方法について	<p>ふれあいセンターは、地域住民の方々が主体となって行う小地域福祉活動(ボランティア活動)を進めるための拠点で、地域にお住まいのお子さんからご高齢の方まで、どなたでも気軽に立ち寄ることができる交流の場である。稲城市社会福祉協議会が設置し、地域のボランティアの方(コーディネーター)により運営されるもので、住民同士の支え合いや交流を深める一助として活用される。</p> <p>少数であるが学校内にふれあいセンターを作ることに對して防犯面からの反対意見があり、今後、パーティーションで仕切ったり、入り口を分けるなど、相互に行き来できないよう独立区画にする予定である。</p> <p>若葉台小学校の増築部分は相当広いので、今後地域の声を聞きながら、ふれんど平尾のようにする構想がある。地元の自治会等にも協力いただき、できれば運営協議会を設置してもらいたい。</p> <p>ふれあいセンターの備品設置については、具体的にやる事が決まってから相談をしながら検討したい。</p>
2	若葉台地区に対する防犯体制強化(警察への働きかけと市の広報等注意喚起)について	<p>若葉台地区に限らず、子どもに対する犯罪を抑止するため、小学校の下校時刻に合わせ、職員が防犯パトロール車で市内を巡回しているほか、事件発生等の際には、市から多摩中央警察署に対し見回りの強化を要請し、連携して犯罪発生地域を重点的にパトロールする等の対応をしている。</p> <p>また、広報啓発や注意喚起については、広報いなぎ、市ウェブサイト、メール配信サービス、防災行政無線、青パトによる巡回、行政情報モニター、稲城市防犯駅伝パトロール、市内一斉防犯パトロール、市民まつりなど、様々な媒体や行事等で実施している。</p> <p>市の防犯カメラは、犯罪が起こりそうなエリアや通学路、公園等、すでに一定の設置を終えている。自治会としての設置要望については、市で自治会に対し初期費用・ランニングコストの大部分を補助する制度を設けている。</p> <p>青パトの貸し出しも行っており、地域と協力し防犯体制の強化を図っていきたい。</p> <p>また、最近では犯罪件数が増加傾向で、特に自転車窃盗が増えている。駐輪場で無施錠の自転車が狙われるケースもあり注意して欲しい。</p>
3	読売新聞でジャイアンツタウンに都の補助金が入る記事があったが、その詳細を教えて欲しい。	<p>元々よみうりランド内を案内するデジタルマップがあり、ジャイアンツ構想に合わせそれを拡張する際に、包括協定を結んでいる市とタイアップをして市内の飲食店等を掲載できるようにした。しかし、中々掲載元が集まらないので、東京都の補助金を活用しコンサル等を実施する予定である。</p>

No.	質問内容	回答
4	<p>今後市への来訪者が増えると思うが、交通の便はどうなるか。</p>	<p>当初はバス会社から新路線の開業等の申し出もあったが、運転手不足や働き方改革の影響で状況が激変し、路線バスの新路線の話もなくなった。ジャイアンツタウンスタジアムで試合のある日は巨人軍が出す無料チャーターバスがあるが、通勤通学に使えるものではない。 代替えとして、Zipperという新技術の活用を研究しており、現在技術的な面、採算性、法的な問題を含めコンサルを入れて調査中。Zipperはロープウェイとは異なり風に強く、カーブも可能、また無人運転というメリットが多く、バス程度の輸送力がある。</p>